

もえかのライフヒストリー

# 現在のもえか 自己紹介

診断:(自分ではわかりませんが自立支援医療を受けていて)今は衝動性を抑えるお薬と、妄想を抑えるお薬と、悪夢を見ないようにするお薬飲んでます。

お仕事:看護助手 1ヶ月で辞めてやるー!となってから、引き止められてずるずると続いております😊



# 生い立ち

- 父、母、弟の4人家族
- 酒癖の悪い父
- 母は難病の弟につきっきり
- 難病の弟



過干渉で育て、親の理想の娘を叶えるためにだけ生きてきた。  
両親に、弟のためだからと利用されたり、人格否定されたりした。

# 子ども時代の記憶、風景

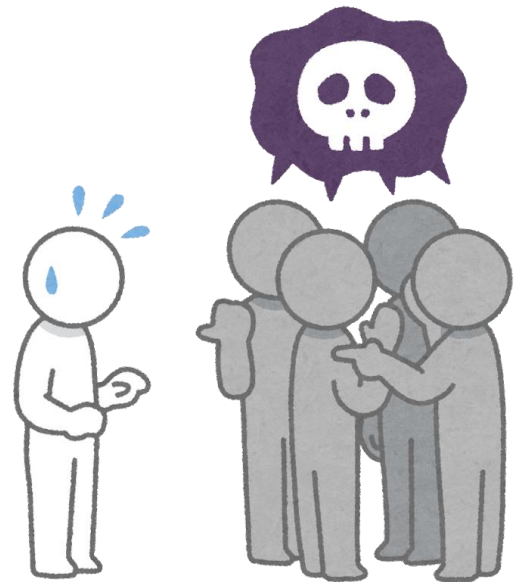
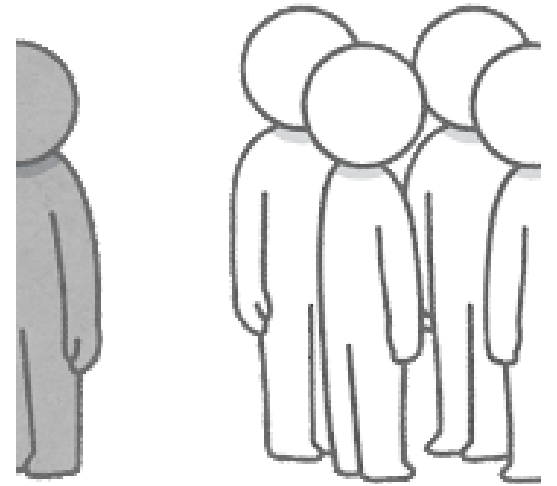


- いつもそばにいてくれるおばあちゃんと、たまに会える両親。
- 酒の空き缶を飛ばす父親と泣いてる母親。
- 子供は入れないからと入れてもらえなかった弟のいる治療室。



# 学校時代

- 転校ばかりの小学生時代は、どこに行っても目新しい転校生で1人で馴染めなかった。
- 男性依存に走った中学生。  
その延長で、教科担任と不本意に関係を持った。



# 相談の経験

- 小学校6年生のときに、いのちの電話に、毎日怒られることを相談。親にバレて、人様に迷惑をかけるなどひどく怒られた。
- 高校2年生の時に、家庭環境のことを電話相談。親と一緒に来たら、施設に入れると言われて、そんなの出来るわけないと思い断念。
- 高校3年生の時に、信頼していた先生に、性被害を告白。お前が悪いと言われた。



# 家からやっと飛び出した

- やっと離れられると思った。今まで逃げたくてしょうがなかった、自由のない牢獄から新しい人生が始まると思った。
- 色々な事情を抱えた人が集まって、なにもしなくても受け入れられている感じがした。
- 人と比べてしまうこともあったけど、今まで出会ったことない人がたくさんいた。



# 釧路から出たこと、そして今

- 衝動的に寂しさを埋めるために出てしまった。釧路がどれだけ恵まれた環境にいたか痛感した。
- 自立できると思っていたのに、程遠かった。
- 今でも衝動的に遠くへ行きたくなる。いかに社会不適合者か思い知らされる。居場所をずっと探してる。